

§ 協会の動き（平成 24 年 4 月分）

一般社団法人への移行について

当協会では、平成 22 年度より公益法人制度改革の対応をして参りましたが、4 月 1 日付で“一般社団法人”の設立登記を終えました。

一般社団法人は、協会定款の目的に沿うものであれば、公益事業・収益事業を問わず、実施する事業を自由に決める事ができるため、会員相互の共益を主体とする当協会は、公益社団法人ではなく一般社団法人へ移行することを選択いたしました。

今後は、“一般社団法人”として技術育成と就労者支援、災害対策と環境保全を柱にこれまでの実績を踏まえ県民の為に活動を展開していきます。また、会員には加入していて良かったと思える協会づくりを目指します。

新たなスタートを切った『一般社団法人埼玉県電業協会』を宜しく願いたします。

平成 24 年度新入社員研修会を開催

本年度の新規採用社員(前年度中途採用者含む)を対象に、4 月 5 日・6 日の 2 日間にわたり実施しました。19 社 1 団体から 37 名の新入社員が参加しました。

開講に先立ち熊田企業対策委員長より「この研修は、『雇入れ時安全衛生教育』といい、入社してすぐに行う教育で、いわば出発の教育です。今後皆さんは沢山の教育を受ける事になりますが、教育の中には資格を取得するための教育もあります。教育を受け資格を取得することで、自分の財産を増やしなが、電気業界で大いに活躍して下さい。」と激励の挨拶がありました。

この研修では、電気工事業の新入社員に必要な「労働安全衛生法に基づく雇入れ時の安全教育」のみに特化して実施しており、工事現場での危険と回避策。現場での頼関係の構築。資格を取得の重要性。等を講師の体験談を交えながらの 2 日間の座学講義となります。

カリキュラムを無事終了した受講生には、修了証を手渡しました。

修了時のアンケートには沢山の夢や希望が書かれておりました。“会社に役に立つ(必要とされる)人になりたい”、“大規模設備工事に携わりたい”、“無事故、無災害で定年を迎える”、“長く仕事をしていけるように勉強していきたい”、“独立したい”等々、現在、それぞれが各会社で社会人としての第一歩を踏み出していることと思います。

新入社員の皆様のご活躍をお祈りしております。



[委員長挨拶]



[講義風景]



[真剣な眼差しで話を聞く受講生]

平成24年度1級電気工事施工管理技術検定試験 受験準備講習会（学科コース）開講

平成24年度1級電気工事施工管理技術検定試験受験準備講習会（学科コース）が4月19日から開講いたしました。本年度は、18名の受験予定者が参加し、例年通り5日間の日程で行われます。

この資格は難易度の高い国家資格で、試験も学科を6月、実地を10月と分けて実施されます。

当講習会では、過去問を中心とした模擬試験 個人指導・重要ポイント講義を繰り返し行うことで、初学者から経験者まで様々なレベルに合わせた学習ができると好評な講習会です。毎年多数の合格者が誕生しております。



[熱心に講義を受ける受講生]



[模擬試験に取り組む受講生]